

令和6年度 福岡県地域福祉活動職員連絡会 事業報告

(1) 総括

令和6年度は、これまで課題認識されていた事柄に加え、潜在的な生活課題がコロナ禍や物価高騰等の影響により顕在化され、私たちを取り巻く社会課題はより複雑化してきました。そのような中で、社協職員は目先の課題にとらわれることなく、過去・現在・未来の視野をもって、地域福祉の推進を目的に、住民主体の原則を大事にしながら、日々の社協活動をしてきたかと思えます。

また、全国社会福祉協議会より発令された「社会福祉協議会基本要項改定第一次・第二次案」を契機に、改めて「社会福祉協議会のあるべき姿」を検討するとともに、自社協内や近隣社協間、ひいては都道府県を越えた社協間での活発な意見交換が行われたかと思えます。こういった意見交換をする中で、社協職員としての自身の姿を振り返り、自社協の組織運営や事業方針を再度見つめ直し、「これからの社会福祉協議会の使命と役割」を考える機会が多にあったのではないかと思います。

福岡県地域福祉活動職員連絡会（以下、地職連）では、地域福祉の推進、つながりづくりを使命とする社協ワーカーの育成に令和6年度も取り組んでまいりました。

研修事業「社協ワーカーの眼～ワーカーたるものここに拘れ」では、福岡県を代表する型にはまらない社協ワーカーたちが拘りをもつ視点（まなこ）を、パネルディスカッション形式で聞き、自身の新たな視野を開くきっかけとしてもらいました。「人の心を動かすワーカーに！ネゴシエーション力（交渉力）向上研修」では、私たち社協ワーカーが不可欠とする協議の場における交渉・折衝の役割について学び、自身のスキルに落とし込みました。「全体会議」では、事前課題をもとに社協ワーカー同士で話し合うことで、自身の資質向上と他社協とのつながりの重要性を感じる機会となりました。「ノトトーク！～被災地支援を振り返るワーカーたち～」では、令和6年能登半島地震・豪雨災害における現地運営と被災地支援を振り返り、災害時支援と平時からのつながりがなぜ必要なのかを学び、意見交換を実施しました。「社協の個別支援を考える研修会～個別支援から地域づくりへの“領域展開”～」では、社協の使命や個別支援に求められる視点を学ぶことで、社協の強みを活かした個別支援と地域づくりの一体的な支援の重要性について再度考える機会となりました。すべての地職連事業から、個人のスキルアップはもちろんのこと、県内社協職員同士のつながりがなぜ重要と言われるのか、その両面を感じ取れる機会となりました。

地職連は、役員が参加者をお迎えする運営体ではなく、県内社協職員が集い、学び、つながりをつくる協議運営体です。相談ができる、情報がもらえる、愚痴が言える、議論ができる、時には言い合いができる仲間がいることの大切さを体感できる組織としての機能を、今後もより一層高めていきたいと思っています。

地職連を契機に横のつながりを生み出し、県内ワーカー同士が常日頃から切磋琢磨できるよう、今後も引き続き、皆様の主体的な関わりをお願いし、令和6年度の総括といたします。

(2) 具体的な事業内容

【研修事業】

「社協ワーカーの^{まなこ}眼～ワーカーたるものここに拘れ！～」

4名のパネラーたちが【福祉】【地域】【住民】【社協】をテーマに、どういった視点（まなこ）で日々活動をしているのかについて学び、社協ワーカー一人ひとりが視野をより広げていけるよう開催しました。

「住民＝地域の役員」と捉えることや、地域について漠然と考えることが、無意識のうちに生じる中で、地域の主役はその地域に住んでいる住民であり、一人ひとりが当事者意識を持ちながら「ふだんのくらしのしあわせ」を想い、協力して取り組むことが重要だと再認識することができました。

社協ワーカーとして地域福祉活動に取り組む中で、「何を目的にするのか」、「なぜ必要なのか」が大切であり、社協ワーカーとして住民と協力してより良い機能を発揮できるよう、柔軟な考え方を持ちながら、社会福祉協議会が果たしていく役割を、参加者とともに改めて考える機会となりました。

▼日 時／令和6年5月31日（金） 14：00～17：00

▼会 場／リファレンス駅東ビル2階 Y-1 会議室

▼参加者／53名

▼パネラー／久留米市社会福祉協議会 地域福祉課 荒木 裕太 氏

東峰村社会福祉協議会 地域福祉係 中島 望 氏

筑後市社会福祉協議会 地域福祉係長 卜部 善行 氏

大川市社会福祉協議会 地域福祉係長 野尻 裕太 氏

▼コーディネーター／志免町社会福祉協議会 地域福祉係長 宿利 幸央 氏

「人の心を動かすワーカーに！ネゴシエーション力（交渉力）向上研修」

住民主体の地域づくりは、社協が住民に「何かをしてあげる」、「何かをしてもらう」といった住民を客体化・資源化するものではなく、共に悩み、考え、協議を重ねながら、地域の共通する課題を住民自身が私たちの課題と認識してはじめて地域課題となり、住民主体の活動になっていくのではないかと思います。そのため、協議の場は不可欠であり、多様な主体の参画による協議の場では、「現状との異なり・相手との距離を近づける活動」ネゴシエーション力が社協ワーカーに求められることも多いのではないのでしょうか。

今回の研修では、講義を中心に、ネゴシエーションに関する考え方やテクニック等について学びました。また、グループワークでは、実践現場のモデルケースを想定し、ロールプレイを行うことで、社協ワーカーとしてのネゴシエーションや折衝、話し方について学び、より現場で実践できるスキルに落とし込めた研修となりました。

▼日 時／令和6年9月27日（金） 13：30～16：30

▼会 場／クローバープラザ セミナールームB

▼参加者／27名

▼講 師／株式会社話し方教育センター専任講師 長尾 茂友 氏

「ノトトーク！～被災地支援を振り返るワーカーたち～」

「災害ボランティアセンターを設置・運営する社協を支援する意義の視点は持ち合わせているか」という問題提起のもと、令和6年能登半島地震の支援経過を振り返りながら、学びを深めました。

能登半島地震の被災地社協である穴水町社会福祉協議会の活動報告では、発災当初から現在までの活動内容や思い、今後についての報告、多様な主体との「つながり」の重要性についてお話しいただきました。国東人の藤原氏からは、「被災地への本当の寄り添いとは」「被災の有無に関わらず、社協が果たす地域福祉の役割とは」について、ご講演いただきました。また、穴水町へ支援に行かれた福岡県内社協職員によるパネルディスカッションでは、支援前後の議論や、現地でのエピソードを交えながら、「なぜ、社協職員が社協を支援するのか」の前提や意義に関して、あらゆる視点や思いをのせたお話をいただきました。

思いをのせたお話をいただき、今後被災地に社協職員として支援に行く際の、より良い支援や活動につながる研修となりました。

▼日 時／令和6年11月22日（金） 10：30～17：00

▼会 場／久留米市総合福祉センター

▼参加者／県内、県外合わせて54名

▼報告者／穴水町社会福祉協議会 橋本 みすず 氏、小川 奈美 氏

▼講演者／一般社団法人 国東人 代表 藤原 龍司 氏

▼パネラー／久留米市社会福祉協議会 生活支援課 課長補佐 古賀 公浩 氏

小郡市社会福祉協議会 事務局次長 能塚 治一郎 氏

大刀洗町社会福祉協議会 地域福祉課 課長 池松 昌亀 氏

福津市社会福祉協議会 総務福祉課 地域福祉係長 中島 浩 氏

東峰村社会福祉協議会 事務局 局長 和田 博 氏

うきは市社会福祉協議会 在宅福祉課 課長 國武 竜一 氏

須恵町社会福祉協議会 地域福祉係 主任係長 山内 機長 氏

▼コーディネーター／久留米市社会福祉協議会 地域福祉課 荒木 裕太 氏

「社協の個別支援を考える研修会～個別支援から地域づくりへの“領域展開”～」

社協には、数多くの個別支援（援助が必要な人との関わり）の場面が存在します。社協が個別支援をする意義や役割を見つめ直し、個別支援からどのような地域づくりが必要になるかを考え、今後の社協ワーカーとしての気づきが生まれることを目的に開催しました。

講演では、社協の使命や個別支援に求められる視点、社協が強みとしている地域づくりと個別支援の一体的な支援の在り方について学び、事例報告として嘉麻市社協の取り組み、個別支援から地域づくりを行う上で大切にしていることなどをご説明いただきました。

また、グループワークでは、各社協で困っている事例を出し合い、それを踏まえて今後必要となる地域づくりについて考え、全体を通して、社協の強みを活かした個別支援と地域づくりの一体的な支援の重要性について再度考える研修会となりました。

▼日 時／令和7年1月24日（金） 13:00～17:00

▼会 場／クローバープラザ 506研修室A ※会場とオンラインのハイブリット形式

▼参加者／県内、県外合わせて55名

▼講 師／ローカリズム・ラボ 代表 井岡 仁志 氏

嘉麻市社会福祉協議会 総合相談・地域づくり推進係 係長 小川 史佳 氏

【役員研修】

「社協基本要項 2025 を読み解く～社協の現状とこれからの取り組み～」

社会や経済状況の変化に伴い、約30年ぶりに「社協基本要項」が改訂されます。社協の使命や活動原則、機能が示された基本要項をワーカー一人ひとりが普段からの実践に照らし合わせながら理解し、実践に活用していくために、地域福祉の基礎を正確に抑えること、自身が普段の実践において持つ思いや意図・考えを言語化して自身で理解することを目的に本研修会を実施しました。

基本要項にも掲載される地域福祉の基礎となる用語を改めて見つめ直し、自分の実践と照らし合わせながら理解することで、基本要項が言おうとすることへの理解を深めるとともに、基本要項が普段の実践や社協運営にどのように生かすことができるのかを学ぶことができた研修会でした。

▼日 時／令和7年2月28日（金） 13:00～17:00

▼会 場／クローバープラザ セミナールームA

▼参加者／6名

▼講 師／鞍手町社会福祉協議会 事務局次長 池本 賢一 氏

【会議の開催】

■令和6年度 全体会議の開催-----

事前課題をもとに、各社協で抱える地域課題をグループワークで共有し、解決方法について協議、意見交換を行なった後、各グループで協議した内容をワールドカフェ形式で全体共有しました。事前課題の中には、異なる社協から類似した地域課題が挙げられていましたが、グループワークを通して、その地域課題の要因となる住民のニーズ、地域の背景や解決に向けて活用できる社会資源、地域や社協の組織体制は社協ごとに異なっていることを再認識しました。

今後、社協ワーカー一人ひとりが、自分の関わっている地域で「今、何をする必要があるのか」、「住民がワーカーに何を求めているのか」を改めて見直し、今回の全体会議で出された他社協の取り組みやアイデアをどのように取り入れていくのかを考え、同じような課題を抱えながら日々尽力しているワーカー同士が横のつながりを生み出すことで、自身の資質向上や地域福祉の推進につながることを感じる機会となりました。

▼日 時／令和6年10月18日（金） 13:30～17:00

▼会 場／クローバープラザ セミナールームA

▼参加者／21名

▼内 容／事前に議題を集約し、テーマに準じたディスカッション

■委員会・課題別会議の開催および自主研修支援-----

県内社協職員より、地域住民のニーズや社協組織運営に関する課題提供はあったものの、委員会・課題別会議開催までは行きつかず、本会より助成を行った実績はありませんでした。

【協力事業】

■「ノトトーク！～被災地支援を振り返るワーカーたち～」延長戦！

「能登復興応援物産展～買って復興応援！！～」-----

【主催】 うきは市社会福祉協議会・一般社団法人 螢火

【協力】 道の駅うきは・NPO 法人 チーム能登喰いしん坊・穴水町社会福祉協議会
両筑地区社会福祉協議会連絡会・福岡県地域福祉活動職員連絡会

【日時】 令和7年2月22日（土）～令和7年2月23日（日） 2日間 いずれも9時～16時

【活動】 県内社会福祉協議会へ案内、ホームページおよびFacebookへ掲載などを含む広報活動

【広報事業】

■会報「まなこ」の発行-----

【発行月と発行月・内容】

No.96（令和6年9月）

・「新役員紹介」、「総会・総会后研修会（社協ワーカーの眼）」報告、「特別寄稿 被災地支援を振り返る①②」等

No.97（令和7年3月）

・「ネゴシエーション力（交渉力）向上研修」、「ノトトーク！～被災地支援を振り返るワーカーたち～」、「全体会議 あなたの社協はどうしてる？」報告、「推しワーカーの紹介」等

No.97 の発送は、令和6年10月より郵送費が値上がりしたため、希望する県外社協のみ冊子を発送し、その他はメールにてデータを送付するよう変更しました。

【広報活動】

■近畿地域福祉学会研究助成セミナー

「社協基本要項改定からこれからの地域福祉の理論と実践を考える」

【主催】 基本要項改定とこれからの地域福祉を考える研究会（地域福祉学会員）

【協力】 関西社協コミュニティワーカー協会

【後援】 近畿地域福祉学会

【日時】 令和6年10月19日（土）13：00～16：30

【活動】 県内社会福祉協議会へ案内、ホームページおよびFacebookへ掲載などを含む広報活動
セミナー終了後、県内社会福祉協議会へ資料提供の連絡
（役員社協除き、5社協より連絡あり（うち1社協は県外））

■ホームページ・Facebook の運営-----

ホームページ、Facebook 等を通じ、研修等の情報提供等を行いました。

■福岡県社協との連携-----

役員会や研修会に参加いただき、情報交換、共有等を行いました。

■役員会の開催、監査の実施-----

●役員会

	日にち	場所	参加者	内容
選任前	5月2日(木)	リファレンス駅東ビル	16名	新旧役員顔合わせ他
	5月17日(金)	オンライン会議	8名	R6 研修事業計画すり合わせ
	5月31日(金)	リファレンス駅東ビル	15名	新旧役員総会打合せ他
第1回	6月18日(火)	オンライン会議	8名	R6 体制、研修事業他
第2回	7月3日(水)	オンライン会議	7名	R6 研修、まなこ他
第3回	9月27日(金)	クローバープラザ	6名	R6 研修、まなこ、社協基本要項 2025 他
第4回	10月18日(金)	クローバープラザ	10名	R6 研修、まなこ、社協基本要項 2025 他
第5回	12月10日(火)	オンライン会議	6名	R6 研修、まなこ、社協基本要項 2025 他
第6回	1月24日(金)	クローバープラザ	7名	R6 研修、まなこ、R7 事業検討他
第7回	2月28日(金)	クローバープラザ	6名	R7 総会、事業計画、予算他終了後、役員研修会
第8回	3月21日(金)	ピーポート甘木	8名	R7 総会、事業計画、予算他終了後、まなこ発送作業

※参加者は地職連役員及び県社協担当者です。時期によって新旧役員が参加しています。

●監査

日にち	場所	参加者
4月10日(木)	大川市社会福祉協議会	4名

※参加者は監査2名、会計、会長です。